

プリモシーン

高速馬場への適性とトップスピードとロンスパ性能が武器の馬。

ヴィクトリアマイルもダービー卿CTもレコード決着の早い馬場で当然新潟の関屋記念も早い馬場でのレースです。これと比較するとターコイズSはタフな馬場でのレース。

ターコイズSの凡走はメンバーレベルの比較で見れば相対的に楽なレースだったはずですが近走マイルで唯一の凡走です。

これを考えると明らかに高速馬場に適性が偏っている馬でしょう。その上で高速馬場でどういう競馬が向いているのかを考えると、10秒台に肉薄するラップを後半まとめて出してくる競馬がベストでしょう。

ヴィクトリアマイルがその形でラスト差し込んでいます。中京記念はトップスピードが問われにくかった事に加えて少し前半要素問われる位置取りにいた事が敗因。

これらから考えるとやはり高速馬場で後半要素に振り切った乗り方でラスト3Fから仕掛けて出し切る形がベストで、すなわち東京向きという事でまとまると思います。

直線出し切る事に割り切って乗るのも東京なら騎手思考的にもやりやすいのでどの観点から見ても東京向き。

前が止まってくれた方がいいですし、その速いペースでも中団で付いていくだけの基礎スピードは持っているので1600mくらいが総合的に見て嵌りやすい距離だと思います。

理想の狙い目はタフな馬場で崩れた後の人気落ち高速馬場でのレース。これは完全な狙い目なので覚えておきたいです。

注意点

- ・G3くらいなら地力で勝るが上のクラスだと適性の注文付くので注意必要
- ・とにかく馬場次第で取り捨てる判断が狙いやすい